

笑心の郷 だより

令和4年4月号

〒707-0421
美作市川上30-1
多機能型介護ホームえーる
TEL 78-0555
多機能型介護ホームはーと
TEL 78-0558
テイサービスセンターどリーむ
TEL 78-0557

基本理念：あなたの笑顔と夢を わたしの笑顔と夢で 心を込めて応援します

記念撮影です。皆さん、幼い頃に帰ったように声をかけ合いそれぞれ最高の笑顔の写真が撮れました。その後、大きな箱の中に、ひなあられに見立てた丸い玉を入れ、それを足で蹴り出すゲームや「うれしいひなまつり」の歌をうたいながら体操をしたり、ひなまつりにちなんだクイズをして楽しいひとときを過ごしました。いくつになってもおひな祭りは嬉しいんだなと感じました。



雪が多く降り、寒い冬もやっと過ぎて、いよいよ春がやってきました。硬く縮こまっていた体もポカポカ陽気に誘われて、柔らかくほぐれそうです。どリーむでは三月三十一日に、おひな祭り会をしました。当日の利用者さんは偶然女性ばかりとなり、女の子のお祭りをお祝いしました。お内裏様とお雛様のついでから、顔だけをのぞかせて

どリーむ



三月六・十八日には三月生まれの方四名のお誕生日会を行い、ささやかですがプレゼントと写真をお渡しし、三時にはケーキと紅茶を頂き利用者さんと職員でバスデーソング唄いお祝いしました。また二十五日にはカスタードワッフル作りをし、それぞれ材料を混ぜる人、ホットプレートに記事を流す人など出来る事を担当して頂き美味しく出来上がりました。冬の間、部屋に閉じこもっていた生活から、外に出て外気浴をしたり、お花を見たりと春を感じていたのだと思うと思います。

今月のお食事

今月の献立は、鮭マヨネーズ焼き、五色野菜の金平、カリフラワーとハムのサラダ、フルーツです。

季節の旬の野菜や果物も取り入れつつ、毎月工夫をしながら調理しています。春の温かい日差しの様に、これからも皆様に寄り添って真心込めてお料理を作っています。



はーと

3月9・15日と、はーとでは「ひな祭り会」を行いました。だんだんと季節は春へと移り変わり、女の子の節句を懐かしく思われる方も多くおられたようでした。まず始めに行ったのは職員による紙芝居です。利用者の皆さんにも協力して頂く場面もあり、何度も何度も大きな掛け声をして頂きました。続いて行ったのはひし餅に模したダンボールを使ってのゲーム題して「ひし餅玉入れゲーム」です。利用者の皆さんには赤チーム・白チームに分かれ重ねたひし餅型のダンボールめがけ玉入れをしました。重ねた箱にはそれぞれ



得点があり、皆さんは高得点の箱に入れようと真剣に玉を投げられていました。白熱した勝負繰り広げましたが、最後は勝敗などで関係なく全員で「ばんざーい、ばんざーい」と笑顔でゲームを終わりました。席へ戻りおやつを食べた後は「ひな飾りゲーム」を行いました。利用者の皆さんと一緒にひな壇を完成させるというゲームです。あらかじめ用意していたひな壇の紙へお内裏様やお雛様などのイラストが書かれたカードを皆さんに

それぞれ何処に貼れば良いか確認しながら行いました。「三人官女はそこ!」「ぼんぼりは何処だったかなあ」と一生懸命考え、見事なひな壇が完成しました。そして最後に完成したひな壇の前で写真撮影をしました。これで2021年度の行事も終了です。皆さんお疲れ様でした。2022年度の行事も一緒に楽しみましょう。



まだまだ寒い中、梅の花もほころび始めて三月、えーるのひな祭り会を行いました。まずはひな祭りの由来を聴いて頂き、全国各地のひな祭りを写真で見ながら楽しんで頂きました。利用者の皆さんも自分の娘様の節句に飾った時の事を懐かしんでおられました。おひな様ポリーリングは「かわいいなあ」「これを倒すんか、可哀相なあ」と言われていましたが、投げる番になると、どうすれば皆さんのピンが倒せるか真剣に狙いを定めて投げられ、大喜びだったり、悔しそうにされていたり、盛り上がりました。おひな様作りでは、たくさんの小さなパーツを貼って飾り付けをしたり、おひな様とお内裏様の着物を作り、顔を自分で書いて頂きました。すると不思議にとことなく本人に似ている顔になっていきます。出来上がった作品を眺めて「可愛いのができた」と喜んでおられました。



ひな祭りの最後は、皆さんで春の歌をうたって、少し春を感じた。おやつは、ひなあられと甘酒を食べ、ひな飾りを前にひな祭り気分を味わっておられました。



えーる